

令和7年度 JOBクラス（金） 年間カリキュラム

【ねらい】

- ① コミュニケーション能力の向上(対人スキル/会話のキャッチボール)。
- ② 社会的な生活スキルの向上(SSTを通して身につける)。
- ③ 就労体験を通して、SSTで学んだことを般化させ将来に繋げていく。

【支援方針】

- ① 対人スキルや言葉を介したやり取りなどを学んでもらえるように、SSTを取り入れる。
- ② 就労体験では児の得意不得意を見極めながら、将来に繋げられるような作業内容を提示する。

月	活動内容	目的とねらい	身につけて欲しい力 (5領域)	予想される事・注意点 (前年度の課題と今年度の改善点)	
4月	第1週目 就労体験 第2・3・4週目 ソーシャルスキルトレーニング (SST)	●自分の得意・不得意を把握する。 ●他児と交流を持ち、 関係性を構築する。	【健康・生活】 ・身体の基本を整える。 ・基本的な生活スキルの獲得。	●進学・進級による環境の変化から情緒が乱れ、活動への集中が難しくなる。 ⇒児童のレベル、ペースにあったスケジュールで進めていく。	
5月			【運動・感覚】 ・姿勢保持。 ・粗大運動と微細運動の促進と使い方を学ぶ。		
6月			・保有する感覚の活用。 ・感覚特性への対応。		
7月		●活動時間中、集中して一つの仕事に取り組むことができるようになる。	【認知・行動】 ・五感の感覚や認知の活用。 ・知覚から行動への認知過程の発達と向上。 ・概念の形成（数、大小、色など）。 ・場に適した行動ができるようになる。	●活動への慣れから、作業が雑になる。 ⇒児童のモチベーションになるものを提示し、最後まで集中して作業に取り組むことができるようにする。	
8月			●周りのことを考えて行動できるようになる。		【言語・コミュニケーション】 ・言語の形成と活用。 ・受容言語と表出言語の増加。 ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の向上。 ・コミュニケーションツールの開拓（指差し、身振り、PECS、サイン、音声、文字等）。 ・読み書き能力の向上。
9月					●グループワークに取り組み、他者と自分の意見に折り合いをつけることができるようになる。
10月		●他者の気持ちを想像することが難しい。 ⇒ロールプレイを通して、 疑似体験をしてもらう。		●集団で意見を発表することが難しい。 ⇒ペアワークなどからスモールステップで他者へ意見を伝える練習を行う。	
11月					
12月					
1月					
2月					
3月					